當いらつめハ繰り上げて五日發兌の旨廣告しましたが記者初め活版職工まで例のインフリューエンザョ罹り其れが爲め遲延して矢張十日になりました段ハ諸孃に向つて拜謝致します

いらつめ第五十七号目次（明治廿三年六月十日）

●雜纂……婦人職業論（二）
おこり＝生命の比例＝ラムチの栓の拔き様＝最も暑い土地＝米婦人の流行言葉
京城新流行
セル地の單物＝羽織の色＝羽織の柄
●數學……高等師範學校入學試驗問題（女子部）
〇南山女史に答ふ……緑梅子
〇第五十五號解義
●寄書……以艮都女第五十三號中の忠告……南夢居士
●通信問答……〇砒石中毒の話……香袖
水引結切の理由＝手拭と愛想＝不熟の梅の毒＝大豆の汁ゞ牡丹＝流行處女の下着＝牛乳と肝油＝人乳と牛乳＝束髮網と切下げ年齢＝香水れ用法＝上等の髮油＝婦人の流行繻袢袖＝風琴の價的の意義＝百人一首と小倉＝スポンジと海綿＝いらつめの表紙標目＝ソバカス治療法＝子宮病の名醫＝身体白色法＝天然痘の痕治療法

社告及び社則　いらつめ一部並製金二錢五厘郵税共金三錢、十二部金二拾九錢郵税共金三拾五錢、二十四部金五拾七錢郵税共金六拾九錢、三十六部金八拾四錢郵税共金壹圓〇二錢、四十八部金壹圓郵税共金壹圓二拾四錢〇別製一部金三錢五厘郵税共金四錢、二十部金六拾五錢郵税共金七拾五錢、五十部金壹圓六拾五錢郵税共金壹圓九拾錢〇並別兩製共前金領收の上で無くてハ差上げぬ事〇府内に限り無郵税〇毎月二回（五日及十八日）發兌〇金子御差し送りの手續きハ郵便小爲替なれば拂渡郵便局とある處に　神田郵便局と記し受取人欄内に（神田平永町九番地成美社）と御記入の事〇郵券代用は郵便爲替の無い處に限り五厘切手で一割増しなれは妨げ無い事〇見本は五厘切手で並製五錢別製七錢領收の上差し上ます〇廣告料一行金八錢、割引無し

本號には**婦人職業論**の續稿●**京城新流行**　香袖氏の**砒石中毒の話**といふ論文●其他**通信問答**にて**流行處女**の下着●**香水**の用法●婦人の流行**繻袢袖**　不熟の**梅の毒**●大豆の汁と**牡丹**などの出て居ます

雜纂

婦人職業論（二）

婦人に適した職業と言つても猶家で出來るのと餘處へ通はなければ出來ぬのとの二種有ります。素より通勤の職業も惡いことでも有りません。が、婦人に取つては通勤の職業は萬止むを得ぬ場合に限つて執るべきこと、決して故さらに好んで求めるべき物では有りません。

その故を如何よと言ふに、吾々がいつも言ふ處ですが、婦人の職業、實に婦人の天質は內に適して外よ適せぬもの、間例外の場合も有るのは知りませんが、要するに婦人は骨格遺傳などから論じても婦人は撰ぶべき職業は決して外で無く、むしろ內の方、即ちあらく無く、柔い方であるのが元よりです。もしも左樣で無いものならば婦人をして大工とならしめ、石屋とならしめてもいいとの奇論も湧きましやう。併し乍ら婦人に是等の恐ろしい勞役をさせるのは決して望んで惡い事とは如何なる人とて認める處です。米國にて寡婦又は未婚の婦人が澤山多く、自然是等の婦人の自身生計をいとなむため種々の職業に手を出し、終には男子の爲る職業にまで足を踏み入れるまでに至つた、それはそもそもいゝ事かと言ふに吾々は斷じて惡いと言ひます。婦人がそれ程よ職業よ力を籠める勇氣は感服すべきもの、それが男子の職業を奪つたのならばそれがためよ婦人を惡く言ふのは酷です。が、唯之について吾々が斷じて惡いと言ふのは其社會の狀況の事です。決して婦人とて男子の荒々しい職業に手を出すのは望みませんが、社會の狀況に迫られて是業はみな其方に追ひやられるのです。初めは米國の婦人職業世界も今日の如く多くの働き手を持たなかつたのです。が、人が多く殖ると共にわづかなかぎりの種類の職業では終よ供給が需要に足らず、さりとて暮らさずに居られず、當に驅られて心ならずも苦しくも更に他の婦人が猶手を入れぬ別の職業よ志して來る譯で、好んで之を求めたのでも無いとまろ、今の日本にまだ其やうな不都合の起らないのは切めての仕合はせで、從つて日本今日の婦人が必ずしも差し當つて難い職業と望むにも及ばぬ譯は即ち是です。

それ故に社會の狀況が許すかぎりは婦人も其身に適したもの、中の最も容易いのを執るのが安全の策で、止むを得ぬ處でなければ故さらに他の外を主とする職業に志すよもあたらぬ事です。で、前にも言ふとほり、婦人の職業には內と外

との二つが有ります。　外と言ふのは奉公とか職工場へ通ふとかの類、また内とハ針仕事とか細工物とかです。　勿論針仕事とて洋服裁縫とか肉シャツ裁縫とか言ふものハ今日の日本の普通、其器械類も不充分ゆゑ猶然るべき處へ通はなければ爲りません。が、吾々が言ふ内や外も大抵外でする、またハ内で出來るといふ丈のことでそ。

　仕度が長過ぎるやうですが、本文に入るに先だち猶言はなければ爲らぬ事は職業もなるべく流行り廢りの無いのを撰ぶが第一の注意です。　よしや比類無いほどすぐれてよく覺えて居ても一朝それが廢るなどいふ場合ひには忽ち差し支へを生じます。　勿論この世の職業何一つとして流行りすたりの無い物ハ有りませんが、猶其中でも流行の烈しいのが有る、其處に注意しろと言ふことです。　諸孃は一樂編みと言つて細い毛のやうな籐でこまかく編む烟管筒の類と御存じでしやう。　あれが一時ハ非常に流行して、從つて職工の手間も高く、ことに細かくて婦人に適した職業ゆゑ多くの婦人が之に着手しましたが、一時ハ一年ぐらゐ熟練したものでさへ一ヶ月可なりな賃を得ました。　勿論是にかぎらず一般に婦人の職業は如何なることでもいはゆる内職といふ名義に爲つて居て從つて其賃も安い方です。　で、強ひて言へバ婦人が職業の一方でのみ生計を立てるといふ事ハ餘程の働らきでも爲る者で無くてハ爲らぬこと、それ故よしや職業をするにしろ充分なところを言へバ商賣でも片手にするが一般の法でそ。其商賣も次第に撰み上げて言ひましやうが、しかしこれ商賣をもするといふ事は外の職業をする婦人にハ迚も出來ぬことです。　唯外の職業をする婦人ハ座して職業をするものより丁度其片商賣だけ多く稼げるものですから、既に外の職業と定まつたならばあながち片商賣をするにも及びません。

　さて外の職業の不都合ハ家を明けなければ爲らぬことで、其段に於てハ子供の取りあつかひも充分には出來ず、大にこまる事です。　これから言ふのは主に内で出來る方です。その方は第一に諸孃に取つての御心得の肝要なもので、初最に言ふべき價値の有るものを何かと言へバ即ち繪畫です。委細は次号に於て詳に言ひましやう。

ラムネの栓れ抜き様

これから夏向にもなりますからラムネの使用も夥多しい事でしやう。この、これは栓の取り方よ依つて余程困ることが多い様です。下にある方法で行へバ先づ害は免れます。即ち最初栓を抜く迄ハ眞直にして置いてさて栓を抜くと同時よ少し横にします。斯うすれバ沸騰して來た時其氣が瓶の口に遮ぎられます。

最も暑い土地

亞米利加學藝雜誌は地球上で最も暑い土地ハペルシヤの西南の部分だと云ひました。此土地でも七月八月に連つて四十日れ間ハ晝夜百度以下になつたとハなく、剰つさへ正午よハ百二十八度位に上るとがあるとれ事です。赤道直下に當るばアリんでハ土地の加減もあるでしやうが兎よ角百乃至五百フヒートの深よ堀つた井にハ容易に水が沸きません。ですら此土地ではペルシヤ灣から溢れ出る水で一里ばかりれ間の人民が咽喉を沾ほすことが出來るのみです。おでんも隨分暑い方でハ負けを取らん土地で雨水を溜先て政府から土人に賣下します。其水の價ハ一樽二千五百ルーピースで土人が之れを受賣する直段も五千ルールピースです。

米婦人の流行言葉

此頃亞米利加の交際社會の貴婦人の間よ一種の言葉が流行出しました。其言葉ハ文學家の使ふ樣な言葉で、「假定」といふ代りに「想像」と云ひ決して「推量」といふ言葉も用ひません。彼等も「藥材商」を「化學者」とれひ、ステイアットホーム(家よ止まる)などといふ言葉をストップアットームと云ひます。「紳士」とは口くされ言はず「私れ知つた人」と云ひ、「結搆」(all right)と云ふ言葉は使はず「誠よ宜しい」(very well)と云ひ、客間と言もず、「青座敷」「赤座敷」「日本座敷」即ち「東洋座敷」と言ふ、これらが近頃の流行でそ。

おこり

腹の立つ情の起つたら外の靜かな空氣のよい所でそろ〳〵歩き、風よ向つて嘯き、心を慰めると直ります。惰け心の起つた時にハ時計の音を數へる内にハ氣が紛れ、あくびしたくなくなります。錢が費かひたくなつたらいつもの仕事場へ行き見まはすと錢の貴いのがわかりつかひたくなくなります大慾の心が起つたら先祖の墓へ行き見よ、すると自分も死ねバ斯うなると氣がつき、慾がとまります。慾の起つた時よハ養育院へ行つて貧乏人を見よ。

Digitized by Google
Original from CORNELL UNIVERSITY

生命の比例

英國の或る統計家が一百万人の人の生れてから死ぬまでの事をしらべ、次の事を發見しました。其一百万人の中の四分の一は五才にならない中に死し、廿八分の一は五才より十才までの内に死し、又十才から十五才までの内は死ぬのが中々少なくして、ことさら女の方が死ぬのが少ないです。男女について一般に云へば女よりは八倍ほど男の方が余計に死にます。　三十五才から四十五才の間はそろそろ体の衰弱が起り、四十五才の處で調べると一百万の人數が四十二万一千一百十五人に減ります。　それからは死ぬ分量が驚くべきほど進み七十五才の所になると一百万の中で僅か六分の一だけしか残りません。　又八十五才の所では三万八千五百六十五人、百才の所では二百〇二人しか残りません。　そして五十三才の所では男も女も丁度生きてゐる數が同しく、五十五才以上になると生存するとが女の方が多いです。

己れの知らぬことを恥むるは宜しからず、これを責むるは更らに宜しからず。

智は經驗の娘なり。

京城新流行

其一　セル地や單物

是非から來る順序ですが、贅澤といふものは段々に進むもので、フランネルに向つた好尚が近頃は一變して一層高價なセル地の方に移りました。　高價と言ッてもセル地や單物とも上等七圓ぐらゐなもので出來ますが、しかしフランネルに比べれば無論下着と上衣とは相違は有ります。　セル地や單物、一これや粋士佳人は昨年の夏頃、早いのは一昨年から着はじめて居ましたが、多く知れ亘ッたのは本年です。　本年に至ッては新にフランネルの餘所行きを注文する人も少なく、セルならば一寸して晴れ着にも用ゐるやうになりました。　色合ひと白茶、薄柿色、薄藍や微塵棒縞、薄鼠、草色が主な流行で、ことにまた飛びはなれた流行卒先家ではもはや白茶薄柿薄藍に飽きて薄藍などを尚びます。　が、いづれにもしろ右四種は流行の色に違ひありません。　セル地の單物でも並は三圓ぐらゐから出來ますが、品のよいものは格外に損です。　買ふならば先づ六七圓出した方が宜しいです。

其二　羽織の色

是は婦人のものでも有りませんが、細君方の御心得に記し

ます。　男の夏羽織は矢張り黒です。が、色合ひも黒にすこし紺が掛つたもので、檳椰子など第一は流行です。　之に亞いて少數ではあるもの丶、猶人氣の有るのも純粹の紺です。

其三　羽織の柄

羽織の柄もやはり絽です。　數寄屋は非常にすたれました。ほんの一寸した處に用ゐるだけ位なものです。

其四　根掛け及び半襟の色

根掛及び半襟の色には黄勝ち萠黄が大した流行です。　これは終に從來の若いいらつめの間の半襟に行はれた藤むらさきを厭到して來ました。　年十五六から彼是卅五六までの婦人に通じて黄勝ち萠黄を用ゐるやうに爲りました。　黄勝ち萠黄とは普通の萠黄に比してやゝ黄が勝つて居る色で、些し派手な、鮮な色、例の新駒色に一寸似た色です。　何さま夏向きの用には其色もあざやかで、若やいて居ますから一寸面白いでしやう。　が、成るべくは若年のいらつめ方に限つて用ゐて貰ひたいものです。　三十以上の人には些不向です。　この色を根掛けにして居る例は此頃興行の新富座狂言に樂次郎が髪につけて居ます。　この流行が何も是から起つたのでも有りませんが、何にせよ一般に推し及ぼす勢力は有ります。

數學

高等師範學校入學試驗問題　女子部算術

(1)最小公倍數の定義及最小公倍數を求むの方法を問ふ

(2)比例とは如何なるものなりや

(3)分數除法の規則の理由を詳記せよ

(4)甲乙の時辰儀あり甲は八時十五分を示し乙は八時四十一分を示す今甲を以て九時毎に三分時づゝ進み乙を以て七時間毎に二分時づゝ後るゝものとすれば甲乙の時辰儀の同時を示すは幾時間の後になるや又同時を示すは何時なるや

(5)次式の値を毛位まで算出せよ $\sqrt[3]{53-\frac{2}{9}}$

●右は本年一月三重縣で施行されたものですが諸嬢の參考に載せました。　諸嬢も他校の試驗問題御報知下さい……綠梅

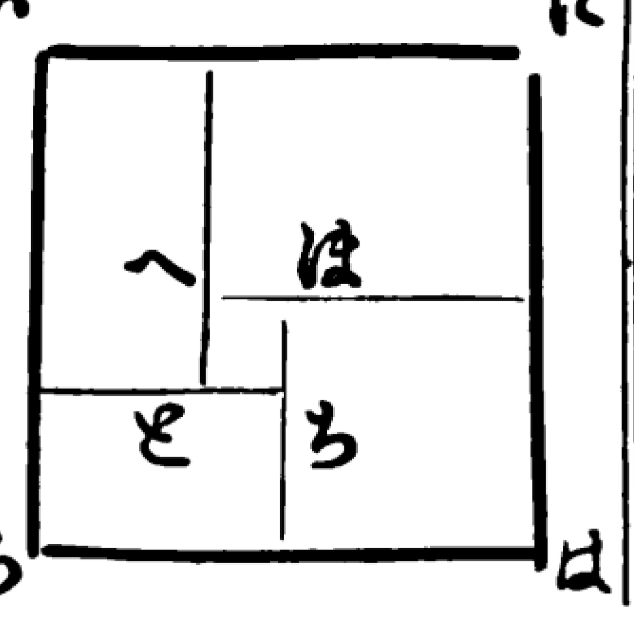
南山女史に答ふ　　綠梅子

御問合せの事が不道理ですから答へられません。　即ち十六に一と六とを一桁に加へると二十三とある。　これに四と掛けて九で割つても二とはあらず。　何がなし出來る場合のあるのは偶然といふもので決して証明は出來ません。

第五十五解義　　綠梅子

●算術

(1)答百十五、九十二。　（解）次の圖で「いろはに」は二數の



和の平方で、「はへとち」と差の平方です
故に和の平方から積四倍を減ぜれば差の
平方になります。 即ち$\sqrt{207^2-10584}$
$\times 4=28$と差で、兩數と $(207+23)\div 2=$
115. $207-115=92$です。

(2)答百〇三、五十一。 (解)前の圖で見れば丁度前の場合の反對ゆえ $\sqrt{52^2+5253\times 4}=154$ と兩數の和で、兩數と$(154-52)\div 2=51$ $154-51=103$ です。

(3)答甲十二里、乙八里。 (解)中央より廿四里隔りたる處にて遇ひたるは十二日間に$24\times 2=48$ 里の相違あることです。 故に一日の速力の差と$48\div 12=4$ 里です。 で、乙の十二日にて來りし處を甲と八日にて行きしあれバ甲と乙の速力の比は$\frac{1}{8}$と$\frac{1}{12}$即ち2と3 の割合ですから $3-2:4::3:x$ の比例式より甲の速力十二里を知り得ます。 乙の速力も同理で知れます。

(4)答大廿五、中十五、小五。 (解)小數を一とすれば中數と三大數と五であることは題意で知れます。 故に$1875\div 1\times 3\times 5=125$ は三つの比に掛ける數の立方に相當します。 $\sqrt[3]{125}=5$ は即ち三つの比に掛ける數で三つの數は$1\times 5=5$, $3\times 5=15$, $5\times 5=25$ です。

(5)答二百里。 (解)題意の如く航せるのは始め正南へ若干里航して其同じ里數だけ正東へ航したと同じことです。 今一里づゝ航したと考へれば出帆地と投錨地との直路は$\sqrt{1^2+1^2}$
$=1.14777\ldots\ldots$です。 故に次の比例を得ます。
$1.24777\ldots\ldots:141.777::1:x$ $x=x=100$ 此百里は正南と正東へ航した里數で、 此二倍は此船の航海里數です。 即ち$100\times 2=200$。 里です。

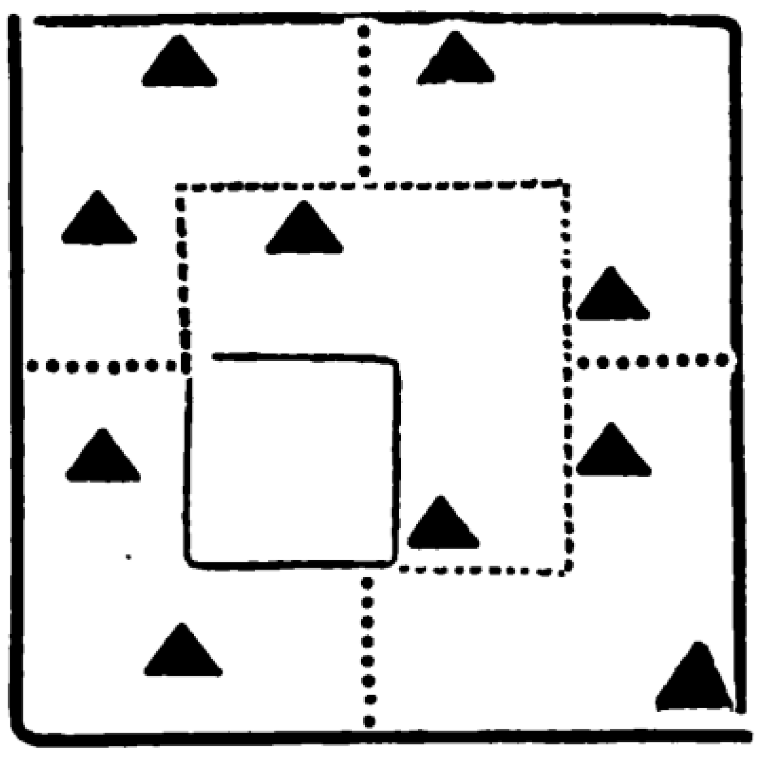
(6)兩數の差で兩數を割るのは一つの數で或る他の一つの數と其數より除數一倍だけ多きな數との二數を割るのと同じことで、 一つの數を割って得る殘りも其數へ割る數を加へただけの數を割るも同じ殘りを得るのは無論です。

(7)答甲二十七、乙二十一。 (解) $\frac{x}{y}=\frac{7}{9}$ で或る數で一數と割った形になりました。 故に 9 と甲の比 7 と乙の比に相當します。 で、 次の比例式より容易に答を得ます。
$9-7:6:9:x$ $x=27$,……甲の數

●數理考物

(1)答$3^{3-3}=3^0=1$.

(2)次の圖で点線と分割した線です。



Digitized by Google
Original from CORNELL UNIVERSITY

寄書

以良都女第五十三号中の忠告　甫夢居士

レモン製法――此法ハ本紙にあるものハ沸騰散は酸が強く砂糖が少く、「レモン」油が澤山で、味はよくありません。且つ夏中咽喉の乾くときには重炭酸曹達は不用です。若し諸嬢の内に作へてまずいのにこり〳〵あさると以良都女は名譽を穢しますゆえ左の法に改めて宜しいです。

拘櫞酸（是はレモンから取りし酸にて酒石酸より餘程美味でも）一匁、上等白砂糖十匁、拘櫞油二十滴　是と能く混せをきて凡そ二十盃の水にある割合で極美にして清涼飲料にあります。委しく申せば一「オンス」とは目方八匁であります。拘櫞酸の量は人に由り酸の強さと弱さと好き〳〵がありますゆえ口に適するのが第一です。拘櫞油も目方一匁にアルコール四匁位混せてをくがよろしい。但し藥店でも通例少し薄きものを瓶に入れて賣ります。此稀薄にあるのは苦味と辛味とありますゆえ一滴にてよい方もあり、二三滴にて好人もあります。此適宜の味を附る爲め油を稀薄にして置のです。此法で美味なるものと作れば熱のある病人にもよく淸涼爽快と覺えさせます。若し味よろしからぬときは御叱りを受ます極々貴婦人令嬢の御口に合ましたら御禮をこのミます。

本に染みたる油を抜く法――此法の苛性ボッタシユム（日本局法の苛性加儞謨です苛性加里でも分ります）を水に溶し附るればよろしいが濃厚過ぐるとれた紙質がめちや〳〵になります。あるたけ稀薄は被がよろしいです。是も御注意なければ以良都女の名譽を汚します。

同号中五十一号は疑問中――（一、朱肉あどの物に付いたのを落す法は極簡易にもききますそが近頃は朱肉流行ゆえ此法を傳授しますと印章杯を落す惡人が出來ますゆえ知らぬ方がよろしい。洗濯曹達位はもれで洗ひ、油さへぬけば追々抜ましやう。たうに能く抜ける法は申越した人があつても本紙には出さぬ方が贊成です。否御止め申ます。名譽は大切ですから。

右三件は心附ましたから亂文ながら差上ます校正の上よき樣に御記載願上ます。

以良都女萬歳

雅も俗もいそで目の寄る柳かな。

砒石中毒の話　　香袖

砒石は毒物で多量に用ゐれば掀衝を起し少量なれば強壮劑及び補遺劑となります。又皮膚病に効能ある故藥物として用ゐる事もありまそ。が、是れは醫師でもたまにそる事で。素人の夢にも家内劑などゝして用うべきものではありません。

下アウストリアの或地方、ステリア、及殊にハンガリーに向ゝる山國では砒石食ひの慣習が古く行われて居りまそが、それは次の二の目的より毒物を食そるとの事です

（第一）身体を太とらし肌を清らかに容貌を艶かにそるため。

第二）山路を上り下りそるに呼吸のきれず、つかれぬため。

そして二つとも目的通り旨く行くのです。實に砒石を食べませと一般に容貌は清らかで開きかけた花の様に美しく十分肥太つて如何にも大夫さうです。でそで、そめはよいのでそが其あとがいけません。Dr Von Tschudi氏の次の話を御覽になれば分ります。P――といふ或村に壯健でそが瘠せて青白い一人の乳搾女がありまして、ある男を見そめました。如何か夫婦になりたいと思つても、身体がこんなではとても添われぬと考へまして、一週間に數度砒石を呑み始めました。處が其効めが數月たつかたゝぬに、顯はれまして今迄瘠せこけて色つやもないものが今は顔色はつや〳〵しくいかにも壯健な身体となり、男の好く通りの色女となりました。これでよせばいゝのでしたらうに此女、あれ位で此んなきゝめがあるなら、尚多量に服したら効能も、一層つよからうと考へました。が、おろかにも多量に砒石を用ひましたから、其ため非常に苦んで到々死ました。

第二の目的即ち砒石をのめば山路など歩くとき呼吸もきれず樂に上り下りそるきゝめがあります。此事は後に出てあります。

さうなら、どの位の分量で用ゐたら善いでしやうか。それは人々に依て異ひます即ち年齢にもよれば男と女又其人の体質によつても量を違へなければいけません。けれど一般に半ゲレインを過ごさないのが適度です。此半ゲレインと一週二三度つゝ朝飯前に服して、其れも長くありましたら、急に分量を増してはいけませんけれど、少しづゝ増いでそ。さうしないと効能が薄くなるさうです。Dr Von Tschudi氏によれば六十歳の頑丈作りの農夫でそれは〳〵非常に壯健なあつた（砒石を食たゝめ）ある農夫がいふには、私も一貼殆

ど二ゲレインツゝのを四十年間つゞけて居りますが、此慣習は親父より傳はり倘自分も子供に傳へるつもりです」と。是れで人に依て量を異へるのはお分りでしやう。

砒石の特徴。　砒石は用ゐての躰質及慣習に氣をつけて分量など鹽梅し旨く適應すると、中毒の徵候は少しも顯はれませんが。　若し一時でも服用を止めると恰も一寸砒石に觸れた時の中毒と全じ樣な徵候が起ります。殊に何となく心持不愉快になり手廻り近所の萬づのものに無頓着となり、自分の身体に付ての心配、食物の不消化、腹をへらず、何だの胃の壓迫される心地、唾を多く出ますし、胃から咽喉のあたりは、やける樣で、咽喉に拘攣起り下腹の痛ミ何となくおさへられて、殊に呼吸のおもぐるしく窒息しさうになります。　そして療法を矢張元の如く服用しつゞくるより外にありません。　一体砒石は阿片など樣に一度の先バ止められぬといふ程に、用ゐて心地よいものではありませんが、但止めると痛ミを覺ゆる故、一度のめバ到底つゞけなくればならず、そして最後に中毒して死にます。　實に恐ろしいですが、其れでも砒石を用ゐ始めた人に在ては砒石を必要物の一です。　常に用ゐなければなりません。

砒石のきゝめは動物でも人間でも全じで、馬などにのますと身体をこやし皮につやを出し、いかにも立派になります。

ヴエンナでは砒石の用ゐは一般で特に紳士の厩馬車屋などで多く用ゐます。　其法は動物の飼料中に砒石一ピンチをふりかけて喰はせるもあれバ豌豆位の大きさの砒石をリチンに結び付けて、其をチヨード手綱のはまつてる轡の處にくッつけるです。　そうすると段々馬の唾液にとけて呑込まれる。町を通ると肥太ッた駿馬の美麗な馬車を引いて口に泡沫を吹いて、如何にも勇しく見ゆるのは皆破石のおかげです。　又山國で荷馬も大抵砒石を喰されますが、其を飼料のくいきる頃にやるそうです。　人間と全じくつゞけて居れバ馬に少しも害を與へません。　が、若し持主が代はりかなどして、砒石をくれなくなると其馬は瘠せて氣力もうせ車も引けなくなります。　そして、どんな滋養のある飼料を與へても元との通りにはなりません。　が、砒石二三ピンチスをやると忽ち以前の氣力つき肥太るさうです。　此事は一千八百五十一年十月十一日ヴィンナ發兌の醫術毎週新紙から英國のある醫學雜誌に拔萃したもので疑ふ点はありません。

砒石と其性質に於ては、烟草、阿片、ヘムプ、コカ、ホップなどと非常に異ッて居りますけれど動物の身体に及ぼす結果を能く似てゐます。　例へバ必要の食物を食べずとも腹へらず、　身体を太とらし又は呼吸をせるなくとも山路を上り下りえさする点などは「コカ」に似て居りますし。　夫から殊に今迄用ゐて居ッたのを暫しでも止めると身体の痛ミを覺え不愉快を感ずるなどは阿片に尤も似て居ります。

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

前述ました如き結果を生じますが砒石の化學生理的作用でまだ實驗して研究した人はありません。 唯砒石を用ゐるを人の容貌が美しくあり馬などがつや／＼しくあるのは、何か皮膚に對して一種奇躰な働きを有するけだといふ事丈は分ります。 が、其働きの生理的性質及如何して其んな風になるか其れは考ふる事も出來ません。 けれど砒石が身体の組織に及ぼす化學的作用は實驗したなら多分かうざらうと思ひます砒石は自然に身体をよわらすむだもの、出來るのと少なくし特よ一定時間內よ肺臟から出す炭酸瓦斯の分量を減ずる作用があるのでしやう。 夫故砒石をたべると

（第一）にはあたり前ほどは酸素を吸はなくとも足りる譯になりますから、山などを上り下りするにあまり呼吸をせぞとも居れるのです即ち疲勞がうちはにあるれは其處にあります。

（第二）口はあたりまへあれば炭酸瓦斯を共給するに入用で、其た先に遣ひなくさる〻譯の食物中の脂肪質が此場合では殘つて居て、其代り外皮下の細胞組織中に入込み、そして身体の養となり肉を太とらすのです。 斯う考へても、そんなら如何して砒石は身體け中に出來て又肺臟がはき出す炭酸の量を減らすのでしやうの、倘毫とも分かりません。 實に砒石の動物体に及ぼす作用は日常見聞する動植物界不思議中の一です。 倘々全体炭酸の出來たか少減すれば身体の温度は下り其働作力も減ずるのですが此場合では、まるで反對の様に思はれます

新刊書籍雜誌

○語格便覽 いらつめにも折々寄書された東宮鐵麻呂氏れ著述にかゝる折本体れ正板の書物で、日本語格の大概を表につくり、初學のたよりとされる物です。著者れ序にもある通り、此書れ目的は普通の語格を容易く知らせたもれゆゑ、普通文よ用の無いてにはゝ載せて有りませんが、しかし其他は行廻りよく、作文するもれの是非座右に置くべきものです。袖珍ゆゑ携帶にも便利でしやう。 發行所は淺草駒形町東宮氏方。

○閨秀新誌 かねてから廣告の有つた同新誌は續々三号まで發兌されました。 一号は一号と大きな体面を備へて來たのと見ても末は天晴なものに爲りましやう。

○農談 靜岡縣周智郡犬居村好耕園發兌の實地農學雜誌で誠に實地農學は記事が中々具ッて居ます。 園藝はいらつめの品格を大に加へるもの、之に志す諸孃は一讀されて宜しいものです。

○第二期大坂攻法會雜誌 田山宗堯氏發行、發行所は京橋區築地一丁目五番地大坂攻法會東京支會。 今日民法も發布になり人々何れも法律思想も無くてならぬ場合ひといふ處のらまず商法及び訴訟法を始めとして五月廿九日から第一号を發刊されました。 商法講義は寺尾亨、磯部四郎、森撿事其他諸學士の解よ係るものです。

通信問答

穗積秋子――㈠水引を結び切りにするのは其事の二度無い様にと云ふ意で、即ち立て結びとは全く反對の意味です。㈡水引は必らずも白を左にするものです。決して赤を左よする物では有りません㈢人の手拭を矢廱につかふと其人と愛想づかしよあるといふ昔の言傳へは一理の有る事です。 人の手拭と矢廱よつかふのは病氣を傳染する患が有り、それのみか欠禮の甚しい物でそ。それを左様言はずに昔の人は單よ淡泊な事で戒めたのです㈣不熟の梅は種の中には青酸といふ甚しい毒があります。之を食べると中毒します。

つぼそれ――冬の間、大豆を熱湯に浸し、其冷るのを待ち、牡丹の根は周圍よ溝を堀つて之を流し込み、其上に土を掛けて置く、是が大よ牡丹の爲よあります。

はつ子――㈠越後上布、そきや、明石縮などの下着は是非着そべき物で、あまり肌が露はれるのは好もしい事でも有りません。ついて東京淑女は流行れる下着は主に薄桃色です、透いて見える處が如何にも優美です㈡肥滿と決して牛乳や肝

油を用ゐるために起るもれでゝ有りません(三)小兒ゝ牛乳より人乳で育てた方が宜しいですが、母の身体に遺傳病の有る時にゝ却つて牛乳れ方が宜しいです。乳母あとも其とほり、些しでも惡病れある性質のものゝよく有りません(四)東髮網と用ゐる事に就ては別に可否も有りません。東髮前のみ／＼剪り下げゝ十七歲ぐらゐまでが關です(五)香水といふものゝ全体顏や髮に塗るものでゝ有りません。顏につけると多くハ冬日皮層を荒びさせます。髮に塗ると毛質を損じます。全体香水ハハンケチか着物の手先きぐらゐへ附けて只其芳香を傳へるための物で、其目的が既にかく故之を他の用に供すればバ事ろ害が有るバかりで其別ハ有りません。こと更地方にはハ是ぞと思ハれる香水ハよし價を高く出しても有りません。三四十錢ぐらゐあもゝ忘れても髮に塗るべきものでゝ有りません。(六)いらつめ第十三号にある髮油ゝ東髮和髮いづれにも宜しいです。香ひは薔薇油を入れたので充分です。薔薇油の最良なのを賣る家は最も少ないです(七)都下十三四歲以上廿三四歲までの婦人の夏襟は本号の流行欄と御覽なさい。夏の襦袢袖ハ〃歲以上廿四歲以下が白又ハ薄青のちりめん、廿歲以上ハ薄色友染の極めてさつぱりした物です(八)風琴は安い處ハ十八圓から有ります(九)さゝかむけと直す法ハ前号にもありました。

さとのや―的の意義ハ早く云へバ『の』です。それ故學術的の進步とハ云ハず學術的進步と云ひます。鬼に角當今でハ的の字を亂用する樣になつて或ハ學術的の進步ると云ふ小聲もありますがそれハ宜しくない事です。(二)百人一首に小倉と云ふ冠詞のあるのハ定家卿の居た處が小倉であつたからです。(三)スポンジと海綿とハ全く同じものです。(四)いらつめの表紙の標目に就いてハ前々号のいらつめに言ひましよう

K、H―御問合せのソバカスを去る法ハいらつめの第二十九号にも出て居ましたが此に轉載しましやう。其法ハ硼砂二ドラクマ、ハンドコロン一オンス、軟水一パイント、この三種をませて一日に三度づゝ顏へ塗るのです。

石上あし子―子宮病の名醫ハ本所の櫻井錠次郎氏です。

出川―上酒二合の中へ卵の白身を五ッ程入れ能く攪して三週間斗り經ッてこれを取り出し日に二度宛洗ふのハ身体白色法無功でもありますまいがしかし大したものハありません。

無骸いく子―居士ハ世を捨てた意味、山人ハ山住みの人また道人ハ道に從ふ人のことです。(二)天然痘の痕、直す法ハ前ハKHさまへれ答へを御覽なさい。(三)眉毛を濃くそる法ハ前号のいらつめに出て居ました。

國文

毎月一回十五日發行　第一號五月廿七日發行　定價金五錢　郵税五厘

國文ゝ國家を保つ一大要基なり苟も國民たるもれ國文を知らざるハ國民の欠格なる國民にして國家を保つ要基を欠きたらんにハ必ず國光を發揮き獨立を鞏固にすることと能ハずいざこれを汝に示さん汝讀まば直ちに國文と解することゝゑ國文を書くとを待べきふゝ汝國民たらバよく國文を解し國文と書け

編輯員

監督　久米幹文　贊　小中村義象

主事　生田目經德　助　落合直文

發行所　東京市神田區中猿樂町十五番地　國語傳習所

國語講義錄會員募集

本所ハ國語の今日に必要なるを感じ昨年十月國語傳習生を募集し猶は遠隔れ地に在る有志者れ為め通信講義錄れ法を設け乃ち本年一月廿五日を以て第一号を發行し續て第八号に至れり此際更に會員を募集と但見本入用れ者ハ郵券拾貳錢を送れ

一講義錄ハ毎月二回發行壹ヶ年間にて業を卒る

一入學金五拾錢月謝金貳拾錢但小學校教員ハ入學金三拾錢

學科

字音かなづかひ　文典　修辭學　竹取物語　土佐日記

枕草紙　徒然草　源氏物語

贊成講師ハ左の如し

文學博士　加藤弘之君

文學博士　小中村清矩君

文學博士　黑川直賴君

文科大學教授 文學士　田中稻城君

文學士　三上參次君

文學士　高津鍬三郎君

第一高等中學校 國文科教師　久米幹文君

仝　小中村義象君

仝　落合直文君

西村貞君

木村正辭君

伊澤修二君

本居豐穎君

飯田武鄉君

高等師範學校教諭　大和田建樹君

鈴木弘恭君

大槻文彥君

東京市神田區仲猿樂町拾五番地

私立國語傳習所

會員募集 社會ノ心要ニ迫ラレ公衆ノ熱望ニ促サレ玆ニ行政學研究會ヲ組織ス有志ノ士速ニ賛助加盟アレ●詳細規則ヲ要セハ郵券二錢ヲ送レ

規則摘要 本會ハ地方行政上必須ノ學科及ヒ之カ應用ヲ研究スルヲ目的トシテ毎月二回雜誌ヲ刊行シテ會員ニ頒布ス●本會々員タラントスルモノハ入會金拾錢會費毎月拾錢ヲ其月廿五日限リ翌月分ヲ前納スヘシ但シ數人若クハ數月分一纒ニシテ送付アルモ妨ケナシ●送金ハ可成爲替ヲ要ス（爲替不便ノ地ニ限リ五厘郵券代用ニテ妨ナシ但一割増（爲替拂渡局芝口郵便支局）

地方行政學研究會雜誌 第四號目次（五月十八日發刊）

●祝詞　宮城縣知事　松平正直

●講義

選擧法　內務省縣治局試補法學士　大庭寬一

日本警察法　內務省警保局出仕　大橋素六郎

農業經營法　外務飜譯官　關澄三

●法令　法律第三十三號（中央備荒儲蓄金運用ノ件）勅令第七十一號（行政又ハ司法區域ニ關スル市ノ所屬ノ件）勅令第七十二號（褒章條例改正ノ件）農商務省告示第四號（林產物公賣規程）

府縣制郡制ハ昨七日法律第三十九號ヲ以發布セラレタリ本會ハ豫告ノ如ク次號ヨリ之カ詳解ヲ掲載スヘシ

府縣制　內務省試補法學士　大庭寬一

郡制　內務省參事官兼法學士　米久金彌

東京京橋區築地一丁目五番地　地方行政學研究會

大坂今橋四丁目十五番屋敷　同大坂支會

千葉旬報

全國有志者ノ投書ヲ募集ス

○第四拾號既發し毎月三回五ノ日發行○一枚前金貳錢○半ヶ年分金三拾錢○一ヶ年分前金五拾錢○全國一般無遞送料（當分郵券代用不苦）

教育上ヲ主トシ政治上宗教上社會上百般ノ出來事ニ付論議報導スル保証金上納ノ一種特別ノ新報也幸ニ投稿且講讀アレ

千葉縣廳下蘇我町　千葉旬報活版所

理化學上の一大現象

球上無比海內惟一の新誌

每月一回　**東洋奇術新報**　定期發行

學理の妙用日に進み月に開け工藝に技術に衛生に、其他百般凡て學理と應用し得るハ今日、苟も志ある者ハ發憤精勵—目に見耳に聞く所ふし、神妙不可思議なるものハ其理を究め鴻益便利あるものも其功を遂げ、以て身を利し國を益せざる可からず、於是乎近頃理化學的應用の新奇發明法又ハ秘傳と稱する者世に續出し—自書自讚其能書や立派と雖も、多くハ是れ舊來既に人口に膾炙せる迂腐の陳法のみ—甚しきハ乂百千中時に奏功有益の奇法あるも、傳授料の唱、多額の金圓を貪る等、畢竟奸商猾奴の利己手段に過ぎずして、眞正世を益する者ハ今尚ほ絕無と云ふべし、是れ弊社が本誌を發刊し博く內外諸大家が浩博の學理と多年の實驗により研究し得たる稀世の秘傳珍法ハ勿論、歐米各國流行の新發明法及諸物の製造法等、苟くも奏功確實鴻益便利ある者ハ、工藝に技術に衛生に—森羅萬象悉く之を誌上に網羅し、苟も妙絕驚くべき前人未發の奇法妙術ハ天地理生物理の別なく—千紫萬紅悉く之を探究し、濟世公益の此奇法—富家利國の此奇術を、極て低廉に極て簡易に—一般同胞に普及せしめんとする所以にして、實に本邦未曾有の最大有益雜誌なれバ、苟も身を利し國を益せんと欲する者ミ農工商の別なく是非講讀の榮を玉へ、—活眼を開いて活書と讀死セし西哲の金言蓋し本誌の如きを云ならん。本誌一部拾五錢。十部前金一圓卅錢。全國無遞送料。—廣告料五号廿四字詰一行拾錢。—郵券代用一割增。爲換ハ大阪府八尾郵便局。本誌第一号にハ人世最必要の秘法奇術數十項を。斬新なる論說珍奇なる雜報十數件を掲載せり。初号ハ可成く前廣く御注文被下度。送金の順序により神速送本そ。

大阪府若江郡八尾村字成法寺廿六番邸　**東洋社**

確實保險萬民有益の寶典

第一号六月七日發行

第三回内國勸業博覽會審査官●農林學校教授 農學士古在由直先生肥料無害證明

臭氣止おきこキな

一壜一五日分代十二錢ダース割引申候

此藥ハ使用に極手輕く大小便所芥ため下水ヱ撒布する時ハ全く無臭となり他の臭氣なくそれが證古ハ博覽會塲内各劇塲等便處ヱ實地試驗廣告仕候

本舗 神田神保町四番地 化粧品專賣藥店 おきなや白

臭氣止一切受負も可仕候又一壜ヱても配達申上候

醫科大學教授 醫學博士緒方正規先生下水實驗證明（御最寄藥店に取次さし出し置候）

學術隨筆 博聞雜誌 第六十二號目錄

●論説○本朝古代織物考○日本政記皇朝史略ノ誤ヲ辨ズ○日本人種ノ起原ヲ論ズ●歷史○茶祖三僧時代概略○平重盛入水ノ辨説●源範頼ノ行衛○刺客ブースノ遺書●傳記○エヂソン氏ノ傳○在桑港日本人ノ八傑●地理○三河國御津山ノ奇景○因幡國ノ名蹟（源範頼墓其他）○暴流ノ三種類●人事○東京府下人員統計○米國移住民數○歐洲各國結婚年齡○小作ノ種類○男女兩性兒ノ實驗○勝伯ノ饑饉話●農事○植物害蟲○天師栗食用法○歐米馬匹交尾法●工業○昔時ノ電話機○石油蒸發機械圖入○滊車鐵道ノ驗測器○テームス河ノ電氣船路●商法

○米ノ產額及價額消費額表○大丸屋勃興ノ由來●諸業○輕氣乘ノ來歷○有松纐纈ノ起原●理化○石油ノ本源○無烟火藥ノ無効●衛生○脚氣ニ禁忌ノ魚類○眼中ノ塵埃ヲ出ス法○髮切レ病○心理療法●教法○佛國巴里ノ安南佛閣○神道擴張ノ趣意●貨物○石刀○薩摩燒陶品○初音ノ釜○秘密ノ出品物●雜事○食金木ノ發見○北海道ノ狐○蚤ノ境界○動物ノ體力●廣告數十件

●毎月五日廿日兩回○一册金八錢半年分十二册前金九十錢一年分廿四册同一圓七十錢○爲替ハ芝口局○郵券代用ハ五厘券ニテ一割增●廣告料一行金六錢

發行所 東京京橋區弓町十番地 博聞雜誌社

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY